

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪電気通信大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカデンキツウシンダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310108045
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	総合情報学部 デジタルゲーム学科 総合情報学部 ゲーム&メディア学科 総合情報学部 情報学科
	担当教職員名・役職	金村 仁：准教授、沼田 哲史：准教授、いしぜき ひでゆき：教授、 原 久子：教授、鴻巣 敏之：教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	14
	受入企業等名	NPO法人ピープルアクティブライフ,(株)アイティープランニング,(株)エフ・ラボ,(株)カースキャリアセンター,(株)ジオリゾーム,(株)甲和ビルド,協和テクノロジー(株),寺崎電気産業(株),西淀川区役所,大阪司法書士会,特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21,八尾市役所,放送文化総研(有),(有)南歯車製作所
	インターンシップの分類	9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップを実施することにより、社会人としての就労イメージを構築するため、受入先の業態に応じた業務を社員とともに行う。また、業務を体験・従事した上での改善・指摘点に関するプレゼンテーションを実施する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている

要素③		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	社会人としてのマナーや守秘義務の遵守についての説明、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業にも評価していただいている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前事後のアンケート調査による効果測定を行っている
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	9～12日（企業による）
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習1日・1社9～15日・事後学習1日の実施とし、日々の報告書は受入企業にも提出し、評価をもらう。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受入企業とのマッチングのための面談の実施し、実施に際しては受入企業と協力してプログラムを設計している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://myportal.osakac.ac.jp/m/websyllabus/detail.xhtml?prev=list&course=s07770501&term=202130 https://myportal.osakac.ac.jp/m/websyllabus/detail.xhtml?prev=list&course=s07770502&term=202130 https://myportal.osakac.ac.jp/m/websyllabus/detail.xhtml?prev=list&course=s07770503&term=202130

問 い 合 わ せ 先	大学等名	大阪電気通信大学
	担当部署名	四條畷就職課
	担当者役職名	主査
	担当者氏名	勝間智康
	電話番号	072-876-5108
	メールアドレス	shushoku@osakac.ac.jp